

## 令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立東調布第三小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・昨年度課題であった「我が国の言語文化に関する事項」について、音読や詩の暗唱、意味調べなど、言葉に親しむ機会や言葉に着目させる機会を増やしてきたことで、改善が見られた。
- ・昨年度課題であった「話すこと聞くこと」について、読書に親しむ機会や、相手や目的をもって思いや考えを伝える機会を意図的に設定してきたことで、改善が見られた。

#### (2) 課題

- ・学習効果測定の結果を踏まえると、漢字の読みは目標値を上回っているが、漢字の書きについては正答率が低く、課題が見られる。
- ・昨年度に引き続き、学習効果測定の記事式の設問に対し、無回答、短答の割合が1割～3割程度いる。書くことへの苦手意識、理解不足が課題となっている。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	全国の平均値を9.4㊦上回った。	/	/
第5学年	全国の平均値を10.9㊦上回った。	全国の平均値を1.9㊦上回った。 (第4学年時)	/
第6学年	全国の平均値を1.2㊦下回った。	全国の平均値を3.2㊦上回った。 (第5学年時)	全国の平均値を1.6㊦上回った。 (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 第4学年

知識・技能	思考・判断・表現
目標値を6.9㊦上回った。漢字の読みはできているが、書きの問題は苦手な傾向にある。また、言葉の学習で、主語と述語の関係に関する回答は目標値を下回った結果となった。	目標値を8.3㊦上回った。説明文、物語文ともに目標値を上回っている。全体的にどの項目も目標値を上回っているが、文章を書く記事式の回答の正答率の上回り方が小さい結果となった。

##### ② 第5学年

知識・技能	思考・判断・表現
目標値を13.8㊦上回った。漢字の読みは、目標値を上回っているが、書く問題では目標値を僅かに下回った。「情報の扱い方に関する事項」は目標値より低い結果となった。	目標値を8.8㊦上回った。話し合いの内容を聞き取ったり、物語や説明文の内容を読み取ったり、文章に書いたりすることは目標値を大きく上回る結果となり、学習成果が上がっていることが分かる。

##### ③ 第6学年

知識・技能	思考・判断・表現
目標値を0.1㊦下回った。漢字の読みは、目標値を上回っているが、書く問題では、正答率が低い。また、「言葉の特徴や使い方に関する事項」も目標値より、低い結果となった。	目標値を0.5㊦下回った。文章の読み取りは、目標値よりも上回っているが、短文での記事式の回答の正答率が低く、無回答の児童も2割程度いる。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>音読や詩の暗唱などの活動を通して、言葉に親しむ経験を積み重ねる。</li> <li>助詞や拗音、長音等の言葉のきまりについて、プリントなどを活用して繰り返し練習し、定着を図る。</li> <li>多層指導モデルMIM デジタル版の読みのアセスメントを行い、必要に応じて個別指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いや考えを明確にすることを大切にして「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の指導を行う。</li> <li>スピーチや、ペアや小グループでの話し合いなどを行い、話す機会を意図的に設定する。</li> <li>話型や書く順序を提示することで、思いや考えを具体的に表現できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉のよさを感じられるように、読書に親しむ機会や仲間と話し合い、思いや考えを伝える機会を意図的に設定する。</li> </ul>

#### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の読み書きを繰り返し練習し、基礎的な学習内容の定着を図る。</li> <li>朝学習での読書の時間や、家庭学習で取り組む読書などを通して、言葉の特徴や使い方を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の様子について、叙述を基に捉えられるよう、学習場面で書く機会を意図的に設定して習熟を図る。</li> <li>書く内容の中心を明確にし、文章の構成を意識して書くことができるように指導する。</li> <li>話し手が伝えたいことを中心に捉えて、必要なことをメモしながら聞く指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを明確に言葉で表現する時間を意図的に設ける。</li> <li>ペアや小グループで話し合っただけで考えを共有することや、文章で書いた考えを交流する活動を設定し、自分の思いや考えを進んで伝えるようにする。</li> </ul>

#### (3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の読み書きを繰り返し練習したり、ICT を活用したりして、取り組む機会を増やす。</li> <li>言葉の理解については、熟語の意味を調べたり、それを使って文章を考えたりする場面を取り入れ、定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手や目的を明確に示し、聞き手や読み手に対して分かりやすく、説得力のある文章を書いたり、話したりするよう指導する。</li> <li>相互評価や異学年への発表する機会を積極的に設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えを表現したり、まとめたりすることを取り入れていく。</li> <li>例文や見本を見せ、短文でも文章で自分の考えを書くことや、伝えたいことを聞き取って文章化させることなど、個別に支援しながら苦手な児童も前向きに取り組むことができるよう支援する。</li> </ul>

### 4 重点指導事項

- 漢字の読み書き定着のため、ICT 機器やプリントを活用して繰り返し練習させる。また、言葉の特徴や使い方などの理解を深めるため、音読や詩の暗唱、意味調べなど、言葉に親しむ機会や言葉に着目させる機会を増やす。（知識・技能）
- 自分の考えやそれを支える理由、事例との関係等を明確にして文章に書き表す機会を増やす。（思考・判断・表現）
- 言葉のよさを感じられるように、読書に親しむ機会や、相手や目的をもって思いや考えを伝える機会を意図的に設定する。自分の考えを文字言語でまとめる際には内容を具体的に例示したり、手本を示したりして、前向きに書くことに取り組むことができるようにする。（主体的に学習に取り組む態度）